

令和7年度 研究推進について

I 研究主題について

(1) 研究主題

進んで考え、伝え合い高め合う授業づくり
 ~伝え合う場の充実を通して~

(2) 令和6年度の研究より

令和6年度の研究主題は次のものである。

自ら考えお互いの考えを高め合う授業の創造
 ~算数科を中心とした予習学習と伝え合う活動の充実を通して~

この研究主題の下、次のような授業研究・授業改善を行った。

- ・めざす子供像の視点に基づいた教育活動の展開
- ・研究授業における KTY の視点を焦点化した模擬授業⇒授業参観⇒事後協議
- ・予習を用いた授業展開
- ・授業の中で伝え合う場の設定
- ・全学級の研究授業実施
- ・自由参加の指導力アップ学習会を年10回実施

以上の取組から得られた成果と課題を以下に示す。

【成果】

① 学力調査より (CRT)

○各教科・領域で上昇傾向が見られる。(表1)

○全国比100以上の項目(表2)

R5 国語:3 算数:3 理科:1

R6 国語:12 算数:15 理科:2

特に算数の上昇率が大きい

表1

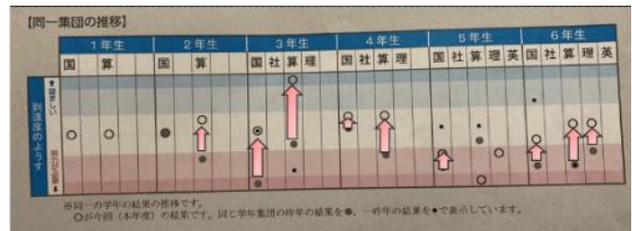


表2

R5		R6	
教科	項目数	教科	項目数
国語	3	国語	12
算数	3	算数	15
理科	1	理科	2

②研究の手法について

令和6年度末に行った校内研修より、次の手法については教職員から肯定的な評価が得られた。

〈予習について〉

- 受け身にならず、課題意識をもって授業に臨めるようになった。
- 子供がやることを理解しているので指導が入りやすい。

〈伝え合う活動について〉

- 双方向に伝える活動は効果的だった。
- ミニホワイトボードの活用が有効だった。

【課題】

①学力調査より(CRT)

△主学態は知技、思判表と比べて低い傾向にある(アンケート回答)

②研究の手法について

〈予習について〉

- ▲準備の大変さがある。
- ▲学力との関連については不明である。
- ▲予習ルーブリックの活用が進まなかった。
- ▲家庭で予習してくる前提をつくることに疑問がある。
- ▲いろいろな予習の方法や目的について認識しておく必要がある。

(3) 主題設定の理由

以上より、令和6年度に行った研究の柱として「予習」と「伝え合う活動」については、効果的だったといえる。しかし、予習に関してはその手法を追究し効果的な実践を行うことが困難であった。そこで、令和7年度は「伝え合う場の充実」を研究の柱とし、児童の資質・能力の育成を目指すこととする。なお、伝え合う場の充実に資する要素として、「基礎学力の定着」も研究の内容に含んでいる。

2 研究の仮説と研究の柱

(1) 研究の仮説

伝え合う場の充実を図れば、児童が自ら進んで考える力や互いの考えを高め合う力を育むことができるだろう。

(2) 研究の柱

伝え合う活動の充実

3 研究の内容

(1) 研究の方法

- ①視点を焦点化した授業研究（模擬授業⇒授業参観⇒事後協議）
※授業研究の際、教科は授業者が選択する
- ②理論研修（指導主事を招聘しての研修やオンデマンド研修等の活用）

(2) 指導の工夫

【伝え合う活動の充実】

- ①視点を明確にした上で行うペアトーク・グループトーク
- ②考え方の違いや誤答を大切に授業展開
- ③聞き方・話し方の指導（掲示物）
- ④ICT の効果的な活用

【学びの振り返り】

- ①ルーブリックの活用
- ②効果的な家庭学習

【基礎基本の徹底】

- ①個の実態に応じたパワーアップタイム
- ②算数検定の実施

4 検証の指標と方法

(1) 児童は、自ら進んで考え、お互いの考えを伝え合い高め合っているか。

検証の指標		方法
自ら進んで考えているか	・問いに対して自分なりの考えをもって発言している ・資料やノートに自分の言葉で記述している	【ルーブリックの活用※1】 【振り返りの内容評価】
考えを伝え合い、高め合っているか	・他者の発言に耳を傾けている ・相手の意見に対して質問や意見を返している ・友達の考えから自分の考えを深めている様子がある	

(2) 学力は定着しているか。

検証の指標	
単元末テスト(国語・算数)の平均通過率	低学年：80% 中高学年：75%
CRT が全国比100を超える児童の割合	低学年：60% 中学年：55% 高学年：50%

※1【ルーブリック評価表の例】

評価の観点	3（よくできた）	2（できた）	1（もう少し）
自ら進んで考える力	自分の考えを明確にもち、理由もつけて表現している	自分の考えをもっているが、理由や説明が不十分	自分の考えをもつことが難しい
相手に伝える力	相手にわかりやすく伝える工夫ができている（例え・図・言い換え）	自分の考えは伝えられている	話すことに消極的・言葉が足りない
考えを高め合う力	友達の意見をもとに自分の考えを深めたり、考えを広げたりしている	友達の意見に触れながら、自分の考えを述べている	友達の意見を聞いているが、自分の考えにはつなげていない